

大塚 彰

おおつか あきら

大塚 彰 Akira otuka

健康科学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 教授

学歴・学位

高知リハビリテーション学院理学療法学科 卒業 (理学療法士免許 第 10293 号)

広島大学大学院工学研究科システム工学専攻 博士課程後期 修了 博士 (工学)

(第 2572 号)

主要職歴

昭和 47 年 04 月～昭和 49 年 07 月	徳島大学医学部附属病院 理学療法士
昭和 51 年 10 月～昭和 63 年 06 月	愛媛大学医学部附属病院 理学療法士
平成 07 年 04 月～平成 27 年 03 月	広島県立保健福祉短期大学～県立広島大学 (大学院) 教授
平成 27 年 04 月～現在に至る	広島都市学園大学健康科学部学部リハビリテーション学科 教授

専門分野

理学療法学、義肢装具学、福祉工学

主な担当科目

義肢装具学、義肢装具学演習、リハビリテーション工学

研究テーマ

- ・電動義手の開発研究
- ・重度障害児・者の生活支援用具 (自助具を含む) の開発研究

ひとこと

・毎月第 3 日曜日に三原市内で自助具作成ボランティアグループ「みはらタコ工房」を開催しています。ご興味があればご参加下さい。

・三原市佐木島で「海浜セラピー」を実践しています。

その他（所属学会・団体）

- ・社団法人日本理学療法士協会 ・日本リハビリテーション医学 ・日本義肢装具学会
- ・国際義肢装具学会 ・日本人間工学会

研究活動

学術論文 209 編

- 1/209) 体内力源能動義肢ハンドの開発（共）〔大塚彰、辻敏夫、塩川満久 他 4 名〕日本義肢装具学会誌 第 15 巻 4 号 pp.332-339 1999 年 10 月（第二回土屋和夫論文賞 受賞論文）
- 2/209) ヒトの運動解析に基づく義手に関する研究－能動・装飾ハンドの開発－（共）〔大塚彰、辻敏夫、福田修 他 1 名〕医科器械学第 72 巻 5 号 pp.220～227 2002 年 5 月（平成 15 年度論文賞 受賞論文）
- 3/209) 人間工学的機能的把持装具の開発・研究（共）〔大塚彰、島田雅史、金井秀作 他 3 名〕臨床バイオメカニクス 31 pp.431-437 2010 年 09 月
- 4/209) わが国における電動義手の開発のあゆみ（単）人間と科学 第 15 巻第 1 号 pp.1-13 2015 年 3 月

その他（学会発表等） 327 編

- 1/327) Development of an Internally Powered Functional Prosthetic Hand Proceeding of the 7th the IEEE International Workshop on Robot and Human Communication pp.201-206 1998 年 9 月
- 2/327) Development of internally powered functional prosthetic hand with a voluntary closing system and thumb flexion and thumb flexion and radial abduction～based on normal human grasping action～ Proceeding of the 9th the IEEE International Workshop on Robot and Human Communication pp.405～410 2000 年 9 月
- 3/327) The function of the Japanese Geta clogs ISPO-THE 13TH World CONGRESS (Leipzig Germany) 2010 年 5 月

著書 15 編

- 1/15) 福祉工学入門-人と福祉・介護機器の調和を科学する-（共）〔宇土博、大塚彰、金井秀作 他 13 名〕労働調査会 2005 年 03 月
 - 2/15) 健康応援都市みはら＝佐木島ガイドブックを持って砂浜を歩こう＝（共）〔大塚彰、沖貞明、小野武也 他 4 名〕大学教育出版 2009 年 03 月
 - 3/15) 海浜セラピー～癒し・医やし・おもてなし～（共）〔大塚彰、金井秀作、田中聡 他 11 名〕大学教育出版 2016 年 03 月
-